

2015年10月7日(水)

当社のスマートフォン・タブレット向けアプリ「EXTravel®」を活用した 神奈川県海老名市のスマートフォン向け多言語対応観光防災総合アプリ 『えびな元気ナビ』が配信開始

株式会社協和エクシオ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：小園文典）では、情報通信インフラの構築をはじめとするエンジニアリングソリューション事業に加え、付加価値の高いICTソリューションを開発、提供する事業を展開していますが、神奈川県海老名市から受注した、当社のスマートフォン・タブレット向け観光防災総合アプリ「EXTravel®（エクストラベル）」を活用した観光および防災情報を提供するアプリの開発業務が完了し、「海老名市公式スマートフォンアプリ『えびな元気ナビ（愛称：えびナビ）』」として10月1日から配信を開始しました。

『えびな元気ナビ』は、海老名市が公式のスマートフォンアプリとして配信を開始した、当社の「EXTravel®」を活用した「観光情報」と「防災情報」が一体となった多言語対応の観光防災総合アプリで、日本語、英語、中国語（繁体・簡体）、韓国語の4カ国、5つの言語に対応しています。

通常時は“にぎわいナビ”と題し、市内の「観る・楽しむ・食べる・買う」などのスポット検索や目的地までのルート案内、音声案内、「ARカメラ機能」を活用した観光スポットの説明をはじめ、閲覧数の多いスポットをランキングで表示する総合観光ガイドを提供していますが、全国瞬時警報システム（Jアラート）による緊急地震速報受信時には、強制的に地震情報画面に切り替わり、地震の震度や到達時間をお知らせするとともに、市内の最寄りの避難所への案内を行います。さらに、安全・安心に関わる災害情報システム（Lアラート情報）も提供することで、防災避難機能を強化しています。

今後は、「観る・楽しむ・食べる・買う」に関する情報のほか、市内の公共施設、トイレ、Wi-Fiスポット、さらにはおむつ替え設備や授乳室、AED設置場所など、市内のお勧めスポットに加え、市内を巡る5つのルートなども掲載される予定です。

トップ画面には、海老名市公認のイメージキャラクター“えび～にゃ”のイラストを採用しているほか、「お知らせ」機能を導入し、市の最新情報をリアルタイムに送信します（ポップアップ画面で表示）。

『えびな元気ナビ』配信開始後も、当社は海老名市に寄せられるアプリの動作に関する問い合わせへの回答や、本アプリケーションの改良といった保守にかかる業務などの運用・管理面でサポートを実施します。

当社では今回の実績も踏まえ、今後も地域住民の方々に向けた暮らし、行政、各種イベントなどの詳細な情報発信を目指す自治体や観光地の協会などに対し、積極的に「EXTravel®」の導入を提案してまいります。

(※ご参考) 『えびな元気ナビ』について

【対応 OS】 iOS6.0 以上、Android4.0 以上

【ダウンロード URL】

(app store) <https://itunes.apple.com/jp/app/id1037955167?l=ja&mt=8>

(google play) <https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.co.exeo.extravel.ExtravelEbina>

【ダウンロード QR コード】



iPhone_iPad 用



Android 用

【主な機能】

- ・施設検索
- ・案内機能
- ・おすすめルート機能
- ・AR カメラ機能
- ・SNS 投稿 (Facebook、Twitter)、メール連携機能
- ・避難場所関連情報表示機能
- ・閲覧ランキング機能
- ・管理者用コンテンツ管理機能

【対応言語】 日本語、英語、中国語 (繁体・簡体)、韓国語

【料金について】 無料 (ただし、通信料は別途かかります)

【提供元】 海老名市 経済環境部 商工課 (<http://www.city.ebina.kanagawa.jp/>)

* 『えびな元気ナビ』、および『えびな元気ナビ』に掲載する情報の著作権は海老名市が有します
(他に著作権者が存在するものを除く)

(※ご参考) 協和エクシオ『EXTravel® (エクストラベル)』について

『EXTravel® (エクストラベル)』は、観光地などにおける地域の「観光情報」と「防災情報」が一体 (※特許出願中) となった、多言語対応のスマートフォンおよびタブレット向けの観光防災総合アプリです。

通常時は、同アプリのシステムを導入された自治体などの地域の観光スポットの検索・説明やお勧めルートの紹介・案内などを行う総合観光ガイドを提供し、地震などの災害発生時になると、観光ガイドから強制的に防災情報画面に切り替わり、ユーザーの現在地に合わせた予想震度・予想到達時間を表示するとともに、最寄りの避難所に誘導するための機能を搭載しています。コンテンツはすべて日本語に加え英語、中国語 (繁体・簡体)、韓国語での表示が可能です。

また、上記以外の機能や言語の追加にも対応することで、システムを導入される方のご要望に応じた独自のコンテンツを搭載したアプリ作製が可能です。栃木県日光市および今回の海老名市でご採用いただいた「街歩き (エリアナビ)」に加え、観光スポットをより詳細にご案内する「観光スポットガイダンス (スポットナビ)」のメニューも用意しており、世界遺産・京都醍醐寺のアプリに採用されています。



『えびな元気ナビ』のトップ画面※

※“えび～にゃ”のイラストは季節ごとに変わります

◇防災ナビとの切り替えイメージ◇



他のアプリを使っている場合でも、緊急地震速報を受信すると**緊急時の画面へ強制的に移り、最寄りの避難所へ誘導**します。

本資料に関する報道機関からのお問い合わせ先

株式会社 協和エクシオ

〒150 - 0002 東京都渋谷区渋谷 3 - 29 - 20 総務部 CSR・広報室

電話：03 - 5778 - 1075 (直) FAX：03 - 5778 - 1228

担当：望月 政広